

## 個人情報の保護に関する誓約書

公立大学法人横浜市立大学  
附属市民総合医療センター  
病院長

私は、横浜市立大学附属市民総合医療センターで行う医療の提供、研究、実習、見学等にあたり、「個人情報の保護に関する法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」の趣旨を理解のうえ、個人情報の保護に関する横浜市立大学附属市民総合医療センターの諸規定を遵守いたします。

私は、横浜市立大学附属市民総合医療センターで行う医療の提供、研究、実習、見学等を通じて知り得た個人情報を外部に漏らさないことを誓約します。

年 月 日

所属名 \_\_\_\_\_  
所在地（住所） \_\_\_\_\_  
電話番号 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_

※ この誓約書は、市民総合医療センターで医療の提供、研究、実習、見学（施設見学を除く）等を行う際に、事前に実習受入担当部署まで提出して下さい。

## 感染防御等に関する誓約書

公立大学法人横浜市立大学  
附属市民総合医療センター  
病院長

私は、横浜市立大学附属市民総合医療センター（以下、「市大センター病院」とする）で行う医療の提供、研究、見学等にあたり、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を理解し、感染防御のために、以下の行動を誓約します。

1. 登院時はマスク着用し、見学等にあたり常時サージカルマスクを着用します。なお、マスク(実習中のサージカルマスク含む)は、見学等実施者(本人または所属機関)において準備します。
2. 休憩時・昼食時は、密集を避け、ソーシャルディスタンスの確保に努めます。
3. 登院前に必ず体温を測定し、発熱(37.5度以上が目安)や風邪症状が疑われる場合には登院しません。
4. 見学前後の期間においては、感染リスクの高い行動(別紙「感染リスクが高まる「5つの場面」」参照 出典;厚生労働省)は行いません。

誓約日                    令和    年    月    日

見学等予定日時    令和    年    月    日～    月    日

所    属                    \_\_\_\_\_

氏    名                    \_\_\_\_\_

この問診票は、インターンシップ・見学を行う方と患者様の安全を守るために実施するものです。該当する方に○を、16欄へは、具体的に記載をお願いします。

1	咳がでる	はい いいえ
2	喉の痛みがある	はい いいえ
3	鼻汁がでる	はい いいえ
4	くしゃみがでる	はい いいえ
5	眼球結膜が充血している	はい いいえ
6	眼脂がでる	はい いいえ
7	眼瞼に浮腫がある	はい いいえ
8	発疹がある	はい いいえ
9	頭痛がする	はい いいえ
10	下痢している	はい いいえ
11	腹痛がある	はい いいえ
12	嘔気・嘔吐がある	はい いいえ
13	味覚・嗅覚異常がある	はい いいえ
14	当日朝の体温は	℃
15	あなたの身近な方(同居家族や学校の友人等)で・・・	
	1)1週間以内にインフルエンザに罹った方はいますか	はい いいえ
	2)2週間以内にCOVID19に罹った方はいますか	はい いいえ
	3)1週間以内に下痢や嘔吐(吐き下し)の症状が出た方はいますか	はい いいえ
	4)2週間以内にはしか(麻疹)、水ぼうそう(水痘)、三日はしか(風疹)、おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)と言われた方はいますか	はい いいえ
16	上記以外に症状がある方は、具体的に症状を記載してください	

私は、以上の質問を理解し、正しく答えました。

記載日	令和 年 月 日
署名	

# 体調管理表



学校(所属)

名前

見学会1週間前より測定をお願いします。

見学会当日は**必ずご持参ください**。確認させていただきます。

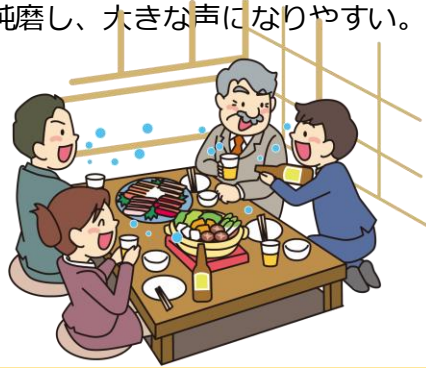
見学会終了後3日間のご自身で体調確認をお願いします。万が一体調変化があった場合は近医を受診してください。またメールでご連絡ください。

日付	体温	咳嗽	咽頭痛	鼻汁	倦怠感	嗅覚/味覚異常	下痢	腹痛	嘔気/嘔吐	発疹	ひどい目やに/充血	その他
月 日												
月 日												
月 日												
月 日												
月 日												
月 日												
月 日												
<b>見学会</b>												
月 日												
月 日												
月 日												

# 感染リスクが高まる「5つの場面」

## 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、聴覚が鈍磨し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



## 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のはしご酒では、昼間の通常の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



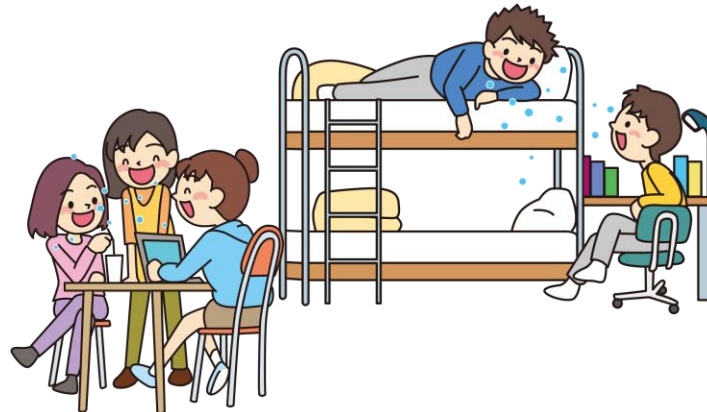
## 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケや野外のバーベキューでの事例が確認されている。



## 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。



## 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

